

○北杜市三分一湧水館条例

平成17年10月7日

条例第57号

改正 平成18年6月30日条例第52号

平成23年7月1日条例第17号

平成26年3月10日条例第2号

平成31年3月27日条例第2号

令和元年7月3日条例第2号

(設置)

第1条 八ヶ岳南麓の湧水群を理解することによって、自然の大切さを認識し、その保全意識を高めるとともに、農村と都市住民との交流を図るために、北杜市三分一湧水館を設置する。

(名称及び位置)

第2条 名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 三分一湧水館

位置 北杜市長坂町小荒間292番地1

(事業)

第3条 北杜市三分一湧水館（以下「湧水館」という。）は、次の各号に掲げる事業を行う。

(1) 展示資料館

三分一湧水をはじめとする八ヶ岳南麓湧水群並びに棒道、その他地域に係わる自然及び歴史資料の展示並びに学習を行うこと。

(2) 展望ホール

講演会、講習会、映写会、演奏会及び研究会等を開催すること。

(3) 加工施設

地場産品を中心とする農産物等を加工すること。

(4) 販売施設

地場産品を中心とする農産物等の販売を行うこと。

(5) 食材供給施設

地場産そば等の生産及び販売を行うこと。

(6) 前各号に掲げるもののほか湧水館の設置の目的を達成するために必要な事業

(管理)

第4条 北杜市三分一湧水館（以下「湧水館」という。）の管理は、市長が行う。

(職員)

第5条 湧水館に必要な職員を置くことができる。

(開館時間)

第6条 湧水館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、湧水館への入館時間は、午後4時30分までとする。

2 前項の規定にかかわらず、市長が必要があると認めるときは、開館時間を変更することができる。

(休館日)

第7条 湧水館の休館日は、次に掲げるとおりとする。

(1) 火曜日（この日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）である場合を除く。）

(2) 休日の翌日（この日が日曜日又は休日である場合を除く。）

(3) 12月28日から翌年の1月4日まで

2 前項の規定にかかわらず、市長が必要があると認めるときは、臨時に開館し、又は休館することができる。

(観覧等の許可及び制限)

第8条 展示資料館及び展望ホールを観覧しようとする者は、市長の承認を受けなければならない。

2 湧水館に保管されている資料等を閲覧し、又は展示及び保管されている資料等を撮影しようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

3 市長は、次の各号のいずれかに該当する場合は、前項の許可を与えないことができる。

(1) 資料が未公開及び未整理のものがあるとき。

(2) 資料の保存に影響があると認めるとき。

(3) 委託された資料で、寄託者の承認を受けていないもの

(4) 前3号に掲げるもののほか、市長が不相当と認めたとき。

(利用の許可)

第9条 展望ホール、加工施設又は販売施設を利用しようとする者は、あらかじめ市長の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 市長は、その利用が次の各号のいずれかに該当する場合は、前項の許可を与えないことができる。

(1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。

(2) 施設又は施設の設備を損傷するおそれがあると認められるとき。

(3) 前2号に掲げるもののほか、施設の管理上支障があると認められるとき。

(利用の制限)

第10条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、許可した事項を変更し、又は許可を取り消し、若しくは利用の中止を命ずることができる。

(1) 展望ホール、加工施設又は販売施設を利用する者（以下「利用者」という。）が許可を受けた利用の目的に違反したとき。

(2) 利用者がこの条例又はこの条例に基づく規則若しくは市長の指示した事項に違反したとき。

(3) 利用者が許可の申請書に偽りの記載をし、又は不正の手段によって許可を受けたとき。

(4) 天災地変その他の避けることができない理由により必要があると認められるとき。

(5) 公益上必要があると認められるとき。

(6) 前各号に掲げる場合のほか、湧水館の管理上特に必要と認められるとき。

2 前項の規定により許可した事項を変更し、又は許可を取り消し、若しくは利用の中止を命じた場合において利用者に損害が生じて、市長はその賠償の責めを負わないものとする。ただし、前項第6号に該当する場合は、この限りでない。

(観覧料及び使用料)

第11条 展示資料館及び展望ホールを観覧しようとする者（以下「観覧者」とい

う。)及び利用者は、市長に湧水館の観覧及び利用に係る使用料(以下「使用料等」という。)を前納しなければならない。

## 2 使用料等の額は、別表のとおりとする。

(使用料等の減免)

第12条 市長は、公益上必要があると認める場合は、使用料等を減額し、又は免除することができる。

(使用料等の不還付)

第13条 既納の使用料等は、還付しない。ただし、観覧者等の責めに帰さない理由により利用することができないときは、この限りでない。

(指定管理者による管理)

第14条 湧水館の管理は、第4条の規定にかかわらず、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であつて市長が指定するもの(以下「指定管理者」という。)に行わせることができる。

2 前項の規定により湧水館の管理を指定管理者に行わせる場合は、第6条及び第7条の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、あらかじめ市長の承認を得て開館時間及び休館日を変更し、又は臨時的に開館し、若しくは休館することができる。

3 第1項の規定により湧水館の管理を指定管理者に行わせる場合は、第8条、第9条及び第10条の規定中「市長」とあるのは「指定管理者」と読み替えるものとする。

(指定管理者の業務の範囲)

第15条 指定管理者が行う業務の範囲は、次に掲げるものとする。

- (1) 湧水館の観覧等及び利用の許可に関すること。
- (2) 湧水館の施設及び設備の維持管理に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、ふるさと湧水館の運営に関して市長が必要と認める業務

(観覧料及び利用料金)

第16条 第14条第1項の規定により、湧水館の管理を指定管理者に行わせる場合は、第11条第1項の規定にかかわらず、利用者は、展示資料館及び展望ホー

ルを観覧しようとする者（以下「観覧者」という。）及び利用者は、指定管理者に湧水館の観覧及び利用に係る料金（以下「利用料金等」という。）を前払いしなければならない。

- 2 利用料金等は、別表に掲げる額の範囲内で、指定管理者があらかじめ市長の承認を得て定めるものとする。この場合において、別表の規定中「使用料」とあるのは、「利用料金」と読み替えるものとする。

（利用料金等の収入）

第17条 市長は、指定管理者に利用料金等を当該指定管理者の収入として収受させるものとする。

（利用料金等の減免）

第18条 指定管理者は、公益上必要があると認める場合は、あらかじめ、市長の承認を得て利用料金等を減額し、又は免除することができる。

（利用料金等の不還付）

第19条 既納の利用料金等は、還付しない。ただし、観覧者又は利用者の責めに帰さない理由により利用することができないときは、この限りでない。

（損害の賠償）

第20条 観覧者又は利用者は、故意又は過失により湧水館の施設を汚染し、又は破損した場合は、市長が原状に復するに必要と認める損害額を賠償しなければならない。ただし、市長が特別の事情があると認めるときは、この限りでない。

（委任）

第21条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

（施行期日）

- 1 この条例は、平成18年4月1日から施行する。

（長坂町三分一湧水館設置及び管理に関する条例の廃止）

- 2 長坂町三分一湧水館設置及び管理に関する条例（平成15年長坂町条例第2号）は、廃止する。

（経過措置）

3 この条例の施行前に、廃止前の長坂町三分一湧水館設置及び管理に関する条例（平成15年長坂町条例第2号）の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされた処分、手続その他の行為とみなす。

附 則（平成18年6月30日条例第52号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成23年7月1日条例第17号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成26年3月10日条例第2号）

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

附 則（平成31年3月27日条例第2号）

改正 令和元年7月3日条例第2号

この条例は、令和元年10月1日から施行する。

附 則（令和元年7月3日条例第2号）

この条例は、公布の日から施行する。

別表（第11条関係）

区分	観覧料		使用料（1時間あたり）	
	個人	団体	入場料を徴収する場合	入場料を徴収しない場合
展示資料館	・大人1人 420円 ・小人1人 200円	・大人1人 310円 ・小人1人 150円		
展望ホール	展示資料館の観覧料を支払ったものは、展望ホールを観覧することができる。		2,100円	520円
加工施設			2,100円	600円
販売施設			市長が別に定める。	